

水道メーター取替業務等委託仕様書

1 目的

この仕様書は、春日那珂川水道企業団（以下「甲」という。）が、水道メーター取替業務等を受託者（以下「乙」という。）に委託するにあたり、当該業務を適正かつ円滑に施行することを目的とする。

2 委託する業務の範囲

甲が乙に委託する業務の範囲は、次に掲げる各業務（以下「メーター取替業務等」という。）とする。

- (1) 甲が給水装置の所有者又は使用者（以下「使用者等」という。）へ貸与した水道メーター（以下「メーター」という。）のうち、計量法（平成4年法律第51号）に定める有効検定証印の有効期間の満了を迎えるメーターの取替業務（以下「検満取替業務」という。）
- (2) 故障等による不具合が生じ、計量に支障のあるメーター及びメーターバルブの取替業務（以下「故障取替業務」という。）
- (3) 給水装置の廃止等に伴い、甲が指示するメーターの引上げ業務（以下「引上げ業務」という。）

3 委託業務の実施場所

春日那珂川水道企業団水道事業の設置に関する条例（昭和52年条例第1号）第2条第2項に規定する春日市及び那珂川市の給水区域内

4 業務の委託期間

令和7年4月1日から令和10年3月31日まで

5 施行体制

- (1) 乙は、甲がメーター取替業務等を依頼した場合には、直ちに対応できる体制をとらなければならない。
- (2) 乙は、メーターの口径及び個数に応じて、柔軟な体制で業務に取り組まなければならない。

6 管理責任者

- (1) 乙は、受託業務を履行するにあたり、甲が認める管理責任者を1名以上選任しなければならない。管理責任者は給水装置工事主任技術者の技能を有した者とする。
- (2) 前号の規定により選任された管理責任者は、乙の履行する業務について常に把握し履行遅延等が発生しないように業務の履行状況について管理するとともに調査、計画、検査といった技術上の統括、管理をしなければならない。

7 作業員

- (1) 乙は、契約締結後、遅滞なくメーター取替業務等の従事者（以下「作業員」という。）を

定め、「作業員届出書」を甲に提出しなければならない。また、新たな作業員を雇用したときも同様とする。

- (2) 乙は、作業員を追加しようとする場合は、あらかじめ「作業員届出書」を甲に提出しなければならない。
- (3) 作業員は、使用者等に対し、親切かつ丁寧な対応を行い、不信感、不快感を与えないように努めること。
- (4) 作業員がメーター取替業務等に従事する際は、統一された服装で作業を行い、使用者等に不快感を与えないように常に衛生的かつ清潔感のある身なりに心がけること。
- (5) 受託者は、作業員に対してメーター取替業務等の従事に必要な教育及び指導を実施しなければならない。

8 委託者証及び腕章の交付

- (1) 乙は、契約締結後、速やかに「委託者証発行申請書」を甲に提出するものとし、甲は申請書に基づき、顔写真付きの委託者証及び腕章を交付する。
- (2) 乙は、作業員に、甲が発行する委託者証を常時ホルダーに付けて表示させるとともに、腕章についても、視認できる箇所に着用させること。
- (3) 作業員は、使用者等から委託者証の提示を求められた場合、速やかに応じなければならない。
- (4) 乙は、委託者証及び腕章について、定期的に確認を行い、適正な管理に努めなければならない。
- (5) 作業員が、委託者証及び腕章を紛失又は損傷した場合、乙は、顛末書により直ちに甲へ報告し、その取扱いについて協議すること。
- (6) 乙は、委託者証及び腕章を損傷した場合又は委託者証に訂正を要する事由が生じた場合は、速やかに甲に報告し、「委託者証発行申請書」により再交付を受けなければならない。ただし、再交付する委託者証は、交付済みの委託者証と引替えに交付するものとする。
- (7) 乙は、作業員に追加が生じる場合は、その都度「委託者証発行申請書」を甲に提出すること。
- (8) 乙は、作業員がメーター取替業務等に従事しなくなった場合は、当該作業員の委託者証及び腕章を甲に返納しなければならない。また、契約期間が終了した場合又は契約の解除がなされた場合については、速やかにすべての委託者証及び腕章を甲に返納しなければならない。

9 メーター等の受払い

- (1) 業務に必要な取付メーター、メーターバルブ、メーターパッキン、フランジパッキン、フランジボルト等は、甲が支給する。
- (2) 乙は、甲より受領するメーター等について、速やかに個数、メーター番号（蓋と本体）等を確認すること。
- (3) メーター取替業務等の遂行に必要な工具その他の器具類は、あらかじめ乙が準備すること。
- (4) 受払い場所

春日市原町二丁目30番地2

春日那珂川水道企業団 別館 メーター倉庫

(5) 受払いの日時

ア 検満取替業務に使用するメーター等については、土曜日、日曜日、祝日及び年末年始（12月29日から翌年の1月3日まで）を除く業務時間内で乙が甲に事前連絡のうえで行うこと。

イ 故障取替業務に使用するメーター等については、随時行う。

10 メーター等の管理

(1) 乙は、支給された取付メーター及び取替後の引上メーター等について、紛失及びき損のないよう自己の責任において、適切に管理すること。

(2) メーターは、精密機器であるため、丁寧に取り扱い衝撃を与えてはならない。特に運搬に当たっては、十分注意すること。

(3) 乙は、取付メーター及び引上メーター等を亡失し、又はき損した場合は、甲が定める損害額を弁償しなければならない。

11 業務の指示及び報告

(1) 検満取替業務

ア 甲は、「取替依頼書」により乙に業務を発注し検満取替業務の資料として「メーター交換票（電子データ含む）」、「注意事項連絡表」を提供する。

イ 乙は、検満取替業務を行った期間終了後の翌営業日までに「取替業務報告書」及び「メーター交換票（電子データ含む）」を甲に提出し、引き上げたメーターを返納すること。

(2) 故障取替業務

ア 甲は、故障等によりメーター及びメーターバルブの取替が必要となった場合、その都度「配水管・給水設備修理指示書」により、乙に当該業務を発注する。

イ 乙は、前項の書類を受領後、速やかにその内容を確認のうえ、原則として直ちに作業を行うものとする。

(3) 引上げ業務

甲は、検満取替対象等のうち水道の管理上メーターの引上げが必要と判断した場合、検満取替業務に合わせて乙に業務を発注する。この場合、「注意事項連絡表」により取替ではなく引上げであることを指示する。

12 メーター取替業務等の実施時間帯

(1) 検満取替業務

原則として日曜日、祝日及び年末年始（12月29日から翌年の1月3日）を除く、午前8時30分から午後5時15分までとする。ただし、お客様の都合による場合は、事前に甲と協議のうえ、上記時間帯以外や土曜日、日曜日、祝日及び年末年始（12月29日から翌年の1月3日）においても、本契約の業務委託料にて検満取替業務を行うものとする。

(2) 検満取替業務以外のメーター取替業務等

原則として土曜日、日曜日、祝日及び年末年始（12月29日から翌年の1月3日）を除く、

午前8時30分から午後5時15分までとする。ただし、緊急対応を要し、甲の指示を受けた場合は、上記の時間帯以外や土曜日、日曜日、祝日及び年末年始（12月29日から翌年の1月3日）においても、本契約の業務委託料にてメーター取替業務等を行うものとする。

13 検満取替業務の実施方法

- (1) 乙は、事前調査及び現地調査等を十分行い、「メーター交換票」に記載された全てのメーターを対象として、その期間内に取替を完了すること。ただし、使用者等の都合により期間内に取替を完了することができなかった場合は、その都度甲に報告し、以後の対応について指示を受けること。
- (2) 取替作業完了後、指定した期日までに、取替データ（取付メーター番号、取替日、取外指針、取付指針等）を記入入力した「メーター交換票(電子データ含む)」及び「取替報告書」とともに取り外したメーターを返納すること。なお、取り外したメーターは、外面をよく洗浄のうえ、取付ネジ山を傷めないよう、また、指針値が変わらないよう保護キャップ（大口徑50ミリから150ミリは除く）を取り付けて、メーター番号順に並べてケースに入れリストを作成して返納すること。また、取り外したメーターのメーター番号が分かるように取り外したメーターが入ったケースごとに撮影し、ファイル名を撮影日とケース番号とした電子データを合わせて提出すること。
アパート等については取替後に、取替前後のメーターをメーター番号が1枚の画像で判別できるように撮影し、ファイル名をお客様番号とした電子データを合わせて提出すること。
- (3) メーターパッキン等は、甲より支給されたものを必ず使用し、使用済のパッキン等は持ち帰ること。
- (4) メーター取替後は、「水道メーター取替済みのお知らせ」を投函すること。
- (5) 小口径（13ミリから25ミリ）メーターの取替については、取替当日に使用者等に取替の趣旨を十分に説明し、必ず了解を得て行うこと。ただし、使用者等が不在の場合、特に使用者等から要望がない限り、事前の通知により検満取替業務を了解していただいているものと判断して取替を行うこと。
- (6) 取替時間に制約を受ける学校、病院、その他業務用（飲食店、美容室等）の中口径（30ミリ）以上のメーターの取替については、事前に使用者等と面会し、取替趣旨を十分に説明したうえ、取替作業の日時・断水の時間等を調整し、必ず了解を得ること。また、取替説明においては、緊急の場合に備え、緊急連絡先を伝えること。なお、取替作業前に必ず現地の状況（メーター位置、仕切弁の有無及び受水槽の位置等）を確認し、その設置状況により取替作業に支障が出るような場合は、甲に報告し協議すること。
- (7) 取替作業日時の変更が必要となった場合は、使用者等と調整のうえ、取替作業日時が確定次第、甲に取替場所、取替時間等を報告すること。
- (8) 集合住宅等のメーターの取替については、事前に建物の所有者及び管理者等に連絡のうえ、取替趣旨を十分に説明し、取替作業の日時・断水時間等を協議すること。
- (9) パイプシャフト内のメーター取替時は、床に戻り水が直接流れないように、ビニールシートや水受け器等を用いて被害を与えないよう十分な対策を講じること。また、共有部分である通路、扉等を傷つけたり汚さないこと。
- (10) 給水管の漏水や障害物等によりメーター取替に支障がある場合は、速やかに甲に報告し

指示を求めること。

- (11) 空き家等で電気メーターやガスメーターが取り外されている、所有者から建物の解体が予定されていることを聴収した等、今後の使用が見込まれないことが判明した場合は、甲に報告し指示を求めること。
- (12) 逆取付防止策として、取替作業前に取付メーター本体の上流側に赤い輪ゴムを取り付け、作業後に取り外すこと。また、漏水、通水方向等の確認を指さし確認で確実にすること。

14 検満取替業務以外のメーター取替業務等の実施方法

(1) 故障取替業務

故障の発生等に応じて、随時実施するものであることを除き、検満取替業務の実施方法に準じて実施する。

(2) 引上げ業務

乙は、「メーター交換票」、「注意事項連絡表」等に記載されているお客様番号、メーター番号、メーター口径等を照合・確認のうえ、以下の手順で業務を行うこと。

ア 対象者には、甲が指示した場合は、甲が提供した文書を投函し、所有者及び管理者に対し、メーターを取り外す予定であることを知らせること。

イ メーターバルブ、止水栓又は仕切弁を閉め、パイロットが回転していないことを確認すること。

ウ メーターボックス内の泥等を取り除き、メーター及び配管等を破損させないように、丁寧にメーターを取り外し、本管側及び宅内側配管にプラグ止め等を行うこと。

エ メーター引上げ後、甲が指示した場合は、提供した文書を投函し所有者及び管理者に対しメーターが取り外されていることを知らせること。

15 漏水・バルブ不良時等の対応

- (1) 作業時に、既にメーターの本管側から漏水している場合、取替を行わず、速やかに甲に報告すること。
- (2) 作業時に、既にメーターの宅内側から漏水している場合、取替を行わず、使用者等が在宅であれば、指定給水工事事業者で漏水修理をするよう依頼すること。また、使用者等が不在の場合は、「水道メーター取替不能のお知らせ（お願い）」を郵便受け等に投函すること。
- (3) 自動車等の障害物により作業ができず、かつ使用者が不在の場合、「水道メーター取替不能のお知らせ（お願い）」を郵便受け等に投函すること。
- (4) メーターバルブ等の止水不良により作業ができない場合、事前に甲に連絡のうえ、乙がメーターバルブ等の修繕を行うものとする。なお、当該修繕に係る費用は甲が負担する。
- (5) 前各号に該当する場合、問題解決後、速やかにメーター取替業務等を完了しなければならない。

16 苦情、紛争の対策

- (1) 乙は、メーター取替業務等の実施にあたり使用者、所有者、管理者等並びに地域住民との間に紛争が生じないように努めなければならない。
- (2) 乙は、メーター取替業務等に関して苦情があり、乙が対応すべき場合は誠意をもって解決

にあたらなければならない。

- (3) 乙は、前号の交渉等において、後日紛争とならないよう文書に記録する等、明確にしておくとともに、状況を随時甲に報告し、指示があれば従うものとする。
- (4) 第三者との間に紛争が生じた場合、乙の注意義務を怠ったことにより生じたものについては乙が解決にあたるものとする。ただし、甲の責に帰すべき事由により生じたものについては、甲と乙が協力のうえ、解決にあたるものとする。

17 損害の責任及び存続

- (1) 乙は、メーター取替業務等に起因した漏水、給湯器具等の不具合、給水栓での出水不良及び苦情等が発生した場合は、速やかに対応するとともに、甲に報告すること。
- (2) 前号の発生が、乙の過失によるもの又は作業上の注意を怠ったことによる施工不良等によるものである場合は、これに係る費用は、乙の負担とする。
- (3) 取替業務完了後に、逆取付や番号報告相違が判明した場合は、乙は、甲の指示に従い速やかに、正常に取り付け甲に報告する。甲に損害が出た場合は、乙は損害額を賠償しなければならない。この場合における責任は、本契約の解除又は期間満了による終了後も存続するものとする。
- (4) 乙は、メーターの保管及び運搬途上、その他事故によりメーターを紛失又はき損した場合は、乙の責任により賠償すること。
- (5) 乙は、受託業務の遂行にあたり、第三者に対し生じた人的、物的損害については、乙の責任において処理解決にあたること。

18 個人情報の保護及び取扱い

乙は、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）並びに春日那珂川水道企業団個人情報の保護に関する法律施行条例（令和5年条例第10号）及び春日那珂川水道企業団個人情報の保護に関する法律施行細則（令和5年規則第3号）の規定を遵守し、受託業務履行上知り得た個人情報その他の情報について、いかなる理由があっても第三者に漏らしてはならない。この取扱いは、本契約の解除又は期間満了による終了後においても同様とする。

19 報告・その他

- (1) 乙は、施工上、メーター取替が困難な場所については、甲に報告し、施工方法等について指示を受け、取り替えること。なお、取替作業は完了するまで行い、未取替は原則として認めない。
- (2) 業務に使用する機器及び器具類等は、すべて乙において準備すること。
- (3) 取替実施にあたり、取替前と取替後の写真を提出すること。写真提出の対象については、担当者の指示に従うこと。

20 仕様書に定めのない事項

この仕様書に定めのない事項について疑義が生じた場合は、必要に応じて、甲乙協議のうえ決定するものとする。